

国を越える人の優しさ

揖斐川中学校二年 牧村 祥子

生まれて初めて言葉が通じない国での最初の夜は、一人ぼっちの寂しさに涙が止まりませんでした。その時ホームステイ先のクレアが私の様子を見て来てくれました。クレアは泣いている理由を聞いてくれて、なぐさめてくれました。私は国が違って、人の優しさは、変わらない事を研修で学びました。研修に参加できて本当に幸せでした。



オーストラリア研修によって掴んだ物  
揖斐川中学校二年 山下 直哉

僕はオーストラリア研修に行くことでいろいろなものを掴みました。その中でも特に何事にも挑戦するということを掴みました。これに関係するのはホームステイです。最初はとも緊張し、イエスカノーしか言えなかったけど途中から勇気を出していろいろなこ

とを話しました。また、ホームステイ先の人はとても僕を大切にしてくださいました。僕はオーストラリア研修にいかけてよかったと思いました。最後にオーストラリア研修に連れていってくださった揖斐川町の皆さん本当にありがとうございます。このことを生かして学校でリーダー性を発揮していきたいと思えます。



やさしい家族

北和中学校二年 林 友理恵

私は、オーストラリアに行くことをとても楽しみにしていました。どんな家族だろう、どんな所だろうと、いろいろな期待を持って行きました。家族に会うとすぐ、みんなが自己紹介をしてくれたり、シャボン玉やトランプで遊んでくれたりしてくれました。家族が一つ増えてうれしかったです。また機会があったら、もう一つの家族の元に帰りたいです。

See you again.

谷汲中学校二年 山本 純里

「See you again.」ホストファミリーの方が最後に私に言ってくれた言葉がうれしくて涙が出ました。ホストファミリーの方は、本当の家族のように私に話しかけてくれたり、散歩に連れて行ってくださいました。短い五日間でしたが、あの言葉は私の心に深く刻まれました。海をこえても家族との思い出は、ずっと大切に光り続けると思います。



ホストファミリーとの時間

久瀬中学校二年 谷口真有香

私は四人の BURROWS FAMILY にお世話になりました。リビングにいたるとき、家族の話、自分の将来の話、Australia の話、日本の話などさまざまな話をしました。お互いの言葉は伝わるまで伝え合いました。頑張って日本語で話してくれたことが嬉しかったです。「娘のように思う」と言われたとき、BURROWS FAMILY は、自分の家族と思いました。

